

# 一般質問通告一覧

令和3年2月島田市議会定例会

令和3年3月8日・9日・10日本会議

島田市議会

◎ 発言順位

令和3年3月8日（月）

（頁）

【代表質問】

15番	山本孝夫	議員	（きょうどう島田：包括質問）	-----	1
2番	河村晴夫	議員	（嶋友会：一問一答）	-----	2
10番	曾根嘉明	議員	（さきがけ島田：一問一答）	-----	3
4番	齊藤和人	議員	（清風会：一問一答）	-----	5
16番	清水唯史	議員	（創造島田：一問一答）	-----	6

令和3年3月9日（火）

【個人質問】

7番	伊藤孝	議員	（一問一答）	-----	8
6番	大石節雄	議員	（一問一答）	-----	9
9番	藤本善男	議員	（一問一答）	-----	10
3番	大村泰史	議員	（一問一答）	-----	11
8番	横山香理	議員	（一問一答）	-----	12
11番	佐野義晴	議員	（包括質問）	-----	13

令和3年3月10日（水）

17番	平松吉祝	議員	（一問一答）	-----	14
12番	桜井洋子	議員	（一問一答）	-----	15
5番	杉野直樹	議員	（一問一答）	-----	16
1番	大関衣世	議員	（一問一答）	-----	17
14番	森伸一	議員	（包括質問）	-----	18

○一般質問の質問時間の目安

（3月8日）

質問者	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目
質問時間	9:30～ 10:30	10:35～ 11:35	11:40～ 13:40 休憩含む	13:45～ 14:45	14:50～ 15:50

（3月9日は6人、10日は5人）

質問者	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目	6人目
質問時間	9:30～ 10:20	10:25～ 11:15	11:20～ 12:10	13:10～ 14:00	14:05～ 14:55	15:05～ 15:55

※ あくまでも目安です。

議員により質問時間は変動しますので、あしからず御了承ください。

## 【代表質問】

### 1. 15番 山本孝夫議員（きょうどう島田）（包括質問）

#### 1. 染谷市政8年間の振り返りと今後の課題について

8年前に染谷市政がスタートし、当初は主に新市民病院をどうするかが課題であった。現在、諸々の議論を経て新病院は建設が完了されようとしている。8年前はまだ財源も十分ではなかったものの、合併の特例措置の活用と緊縮的な行政執行により基金残高も多くなり、新庁舎建設も計画されるようになったと私なりに解釈している。

今後の島田市政は次のステージに入ると考える。今回、令和3年度の施政方針と予算の大綱が示された。これまでの問題点とこれからの課題について、幾つか取り上げて質問する。

- (1) 令和3年度の施政方針の中では、これまで進めてきたものの延長施策にとどまっていると思えるが、何が新しい取組か。
- (2) 財政面において合併特例措置がなくなるこれからは、本来の自治体の財政力で行政が執行されることになる。コロナ禍で一時的には税収の減少があるが、税収の確保はどのように進める考えか。また、観光で稼ぐという効果が税収面で何年後に現れるか。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の対策予算で、これまで個人事業主、法人に交付金等の制度による支援を行ってきたが、困窮している者すべてに行き渡っているか。
- (4) 現在進行中と今後進めるプロジェクトについて
  - ① 旧金谷中学校跡地の活用について契約事業者選定と契約内容において、以前と異なる点を伺う。
  - ② 旧金谷庁舎周辺整備は予定通り順調に進められているか。
  - ③ KADODE OOIGAWAについて、予定通りの集客数と売り上げは達成されているか。また、地元住民の雇用はどうなっているか。
- (5) 学校教育と学校施設について
  - ① 学校再編はいつ頃に完了するか。また、近い将来において校舎の改築等するものはあるか。
  - ② 通学路の安全対策に何か問題が上がっていないか。
  - ③ デジタル化によって学校教育はどのように変わるか。
- (6) 農林業施策について
  - ① 茶産業が衰退していると感じているが、何が問題でどうすれば良いと考えるか。それを進める施策は新年度予算ではどれか。
  - ② 金谷土地改良区の用水路について、要望が上がっていると聞かすが、どのような内容か。
  - ③ 田畑や茶畑において、耕作放棄地が増え続けている。土地利用計画を見直し、耕作放棄地が目立つ地域は宅地への転用を進める考えはないか。宅地への転用が不可能であれば、どのようにして耕作放棄地をなくすか。
  - ④ 広がる竹林への対策はどのように進めるか。

## 2. 2番 河村晴夫議員(嶋友会) (一問一答)

### 1. 令和3年度施政方針について

当市の今後の将来を見据えた場合、様々な課題が多く、夢のある未来をなかなか想像できない状況であるが、それらの課題を整理して一歩でも前に進めていかなければならない。以下については、全国共通の課題ではあるが、どのような対応をしていくか伺う。

- (1) 人口の減少について、昨年、7年連続で30代と10代未満が転入超過となっていることであるが、総人口は年々減少している。具体的な対策とその成果は何か。
- (2) 少子高齢化について、子育て支援は確実に充実してきているが、社会保障制度から考えると、全国での高齢者を支える現役世代の人数は、1960年は11.2人だったのが、2015年には2.3人となり、2065年には1.3人と予測されている。今後の対策はどうしていくか。
- (3) 公共施設の老朽化について、日本の公共施設は1970年前後に集中して建設され、老朽化が進みつつある。当市の場合も該当する施設があると察するが、どのように対処していくか。

### 3. 10番 曾根嘉明議員（さきがけ島田） （一問一答）

#### 1. 島田市立総合医療センターの経営等について

島田市立総合医療センターは5月2日に開院を迎え、最新の医療環境により、皆様に質の高い医療を提供するとともに医師の確保に努め、安定した経営を図ると施政方針に記述されているが、開院後に不安があるため、以下質問する。

- (1) コロナ禍における収支をどのように想定しているか伺う。
- (2) 医師確保に向けた見通しを伺う。
- (3) 新病院建設による周辺整備を含めた総事業費の財源内訳を伺う。

#### 2. 市役所新庁舎建設工事について

市役所新庁舎については、災害発生時における市役所機能の維持及び復旧、復興の拠点として建替えの判断をした。財源として基金を積み立て、有利な起債である合併特例事業債、合併推進事業債の発行期限をにらみながら、事業スケジュールを調整し、計画的に事業を進めなければ、将来の財政的な負担の増大は避けられないと施政方針に記述されているが、将来の財政的な負担は多額の市債を拘えることにより避けることができない。人口減少を見据え、以下質問する。

- (1) 島田市役所周辺整備基本構想から周辺工事を含め、工事完了までの総事業費と財源内訳を伺う。
- (2) 新庁舎建設事業に伴う地元調達率の考えを伺う。
- (3) 新庁舎建設事業による経済効果を伺う。
- (4) 新病院建設、新庁舎建設、旧金谷庁舎跡地の利活用、学校建設と大型事業が集中するが、市債の返済計画の考えを伺う。

#### 3. リニア中央新幹線トンネル工事について

国土交通省による有識者会議は、これまで9回開催された。一向に糸口さえ見えない状況が続く中で、座長は会議終了後、例えば「計算結果としては、流量が維持される」とコメントを出すなど、結論を急ぐような姿勢が見受けられ不信感を抱かざるを得ない。

昨年12月の静岡新聞の特集記事「山岳トンネルの宿命」では、丹那トンネル工事では着手前の地質調査の不備、東海・北陸自動車道飛騨トンネル工事では事前の地質調査とはまるで違う山であったと書かれている。

国の有識者会議の議論で、トンネル工事着工前の地質調査が不足していること、さらに明示された流量予測データが曖昧であることが明るみになった。国の責任ある取りまとめを願うとともに、会議を全面公開すべきと強く思うところである。

特に大井川は、昨年11月からの少雨の影響で1月15日から上水道5%、農工業用水10%の取水制限が開始されている。トンネル工事以南アルプスの水脈が断ち切られた場合、我々の水はどうなるのか不安になる。

南アルプスからの水は、我々の命の水であり、かけがえのない大切な財産である。水を守り抜くため、以下質問する。

- (1) 国土交通省による専門家会議の9回までの議論の評価を伺う。
- (2) 渇水期の水の重要性をもっと訴えるべきであると考えているが見解を伺う。
- (3) 地下水位の低下の影響範囲は、解析上、榎島付近までとあるが、根拠は示されたか伺う。
- (4) 2014年4月環境影響評価書に対する環境大臣と国土交通大臣の意見に対し、JR東海は約束を守っているか伺う。
- (5) 今後の市としての対応を伺う。

#### 4. 4番 齊藤和人議員(清風会) (一問一答)

##### 1. コロナワクチン接種計画及び新病院の医療体制について

世界中を震撼させている新型コロナウイルス感染症の流行により、日常生活において、人との緊密な接触を避けなければならない状況にある。あらゆる場面において、今までとは違う生活様式を求められている。新型コロナウイルス感染症が早い時期に収束することを願い、今後の医療体制について、以下伺う。

###### (1) コロナワクチン接種のスケジュールについて

- ① 65歳以上の高齢者のワクチン接種はいつからできるか。
- ② 高齢者以外のワクチン接種はいつからできるか。
- ③ 新型コロナウイルス感染症の収束の目標時期はいつか。

###### (2) 新病院の医療体制について

- ① 診療科目は何か。
- ② 医師や看護師の体制はどうか。
- ③ 人工透析の体制はどうか。
- ④ 産婦人科の体制はどうか。

##### 2. これからの当市の産業について

新型コロナウイルス感染症が収束した後、当市はどのようなようになっていくか。テレワークを活用する企業が増え、家庭や地域で過ごす時間が増えることにより、今まで以上に充実した質の高い日常生活を求める声が高まるのではないかと思う。同時に産業構造にも変化が起こるのではないかと考え、以下伺う。

###### (1) 里山の農林業環境の整備について

- ① 今後の基盤整備はどのようなになるか。
- ② 耕作放棄された茶園などの整備はどのようにするか。
- ③ 農泊についてはどのように進めるか。
- ④ 森林環境譲与税の使途はどのように考えているか。

###### (2) 中心市街地活性化策について

- ① JRの駅を生かす活性化策はあるか。
- ② まちなかのリノベーションを活用した今後の施策は何か。

###### (3) 将来中心となる産業について

- ① 観光産業は発展できるか。
- ② デジタルトランスフォーメーションによるデジタル技術を活用した産業育成はあるか。
- ③ 農業の6次産業化の推進はできるか。

5. 16番 清水唯史 議員 (創造島田) ( 一問一答 )

1. 令和3年度施政方針と予算の大綱について

令和3年度の市政運営に対する市長の考えが施政方針として示され、世界全体で直面しているコロナ禍の収束と市民生活の立て直しに向けた想いを「この難局を乗り越えた先に皆様の想いと共に」と記している。

また、令和3年度予算の大綱では、新型コロナウイルス感染症の影響などによる社会経済情勢の変化に対応しつつ、国及び県の政策動向を的確に捉え、引き続き歳出改革に取り組むとともに、持続可能な財政運営を念頭に置き、創意工夫のもと第2次島田市総合計画に掲げる将来像、「笑顔あふれる 安心のまち 島田」の具現化を目指し、編成していると述べているが、経済変動の影響は相当なものであると想像されている。これらの状況のもと、市長の次年度に向けた施政運営について、以下質問する。

- (1) 市の財政運営の根幹をなす市税のうち、市民税については、新型コロナウイルス感染症による経済変動により、個人、法人ともに減収を見込んでいる。それとともに、固定資産税の評価替え、また、新型コロナウイルス感染症に係る軽減措置があることで減収も見込まれ、市税全体では、前年度に比べ6億9,862万円5,000円、4.9%減の136億8,850万1,000円を見込んでいる。この大きな減収は予算編成にどのような影響があったか。また、減収をどのように考慮し、予算編成をしたか伺う。
- (2) 国内に新型コロナウイルス感染症が蔓延し、その対応に多くの施策が国、県と連携のもとで実施されてきた。市民の生活を支えるための市独自の施策について、令和元年から令和2年度の新型コロナウイルス感染症に対応した施策と、令和3年度予算において取り組む施策を伺う。
- (3) 令和3年度における主要な事業の取組について
  - ① 政策分野2「子育て・教育環境が充実するまちづくり」について、GIGAスクール構想により、児童、生徒の教育環境は変化する。適正な学びの体制を確保するため、指導する教職員の支援体制を伺う。
  - ② 政策分野2「生涯スポーツを楽しむ人を増やす」について、今後の社会体育施設の維持修繕計画を伺う。
  - ③ 政策分野3「地域経済を力強くリードするまちづくり」について、社会経済情勢の変化により雇用環境が悪化し生活の困窮が予想される勤労者に対して、どのような支援がされるか伺う。
  - ④ 政策分野3「商店街や個店を支援し、地域のにぎわいを生み出す」について、中心市街地の空き店舗対策の取組を伺う。
  - ⑤ 政策分野3「人と地域の魅力を伝える観光施策を進める」及び、政策分野5「歴史・文化がかがやく、人が集まるまちづくり」について、観光資源や文化資源の保存体制に対する取組を伺う。
  - ⑥ 政策分野7「人口減少社会に挑戦する経営改革において、みんなの協力でまちをつくる」について、今後の新しい取組を伺う。
  - ⑦ 政策分野7「公共施設を賢く持って、賢く使う」について、公共施設の現状の管理方法と今後の取組を伺う。



(4) 日本では、2月17日に新型コロナウイルスのワクチン接種が開始された。その副反応や日本人への適合性を検証のもと、国民全体に接種され、本当のwithコロナの生活が始まってくるものだと思われる。今後、新型コロナウイルス感染症が収束した後、市政にどのように取り組むか伺う。

## 【個人質問】

### 6. 7番 伊藤 孝 議員 (一問一答)

#### 1. プロモーションや宣伝活動について

プロモーションや宣伝活動において、当市は他自治体より勝っているとは感じられない。現在では、人気SNS投稿者によって紹介された物や場所が人気となることが多く、SNSの活用が重要視され、職業としても認知されている。広告費においても長く1位であったテレビが、令和元年にはインターネットに替わっている現状である。当市においても、さらに活用すべきと考え、以下質問する。

##### (1) 島田市ふるさと・観光大使について

- ① 現在の大使について伺う。
- ② 今後の大使就任の予定について伺う。
- ③ 芸能やスポーツ界のほか、各種団体等での当市出身の著名人について伺う。

##### (2) ふるさと寄附金について

- ① 現状と今後について伺う。
- ② 返礼品について伺う。

#### 2. 新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症の流行により、市民生活に影響が出ており、早期に収束し、流行前の生活環境に戻すことが求められている。

そのために、多くの市民が早期にワクチン接種を受けられる環境と現状を乗り切れる支援策が必要であると考え、以下質問する。

##### (1) ワクチン接種について

- ① 接種計画について伺う。
- ② 交通弱者への対応は考えているか伺う。

##### (2) 支援策について

- ① 若者（学生）に対しての支援策はあるか伺う。
- ② 顕在化していない業種に対しての支援策はあるか伺う。

## 7. 6番 大石節雄議員 (一問一答)

### 1. 過疎対策新法制定後の中山間地域振興対策について

令和3年3月末をもって、現在の過疎地域自立促進特別措置法は失効する。過疎地域の指定は、市町村単位を基本とするため合併後の川根地区は一部過疎として指定を受け、財政的支援を受けてきた。現在、新たに過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が議員立法で提出されることが進められているが、指定要件を見ると、川根地区は、一部過疎の地域指定の対象から外れることが濃厚である。

そこで、過疎地域から外れた団体に対する経過措置の対応と、その後の中山間地域全般にわたる市の対応について、以下質問する。

#### (1) 一部過疎の地域指定の対象から外れた場合の対応について

- ① 過疎地域から外れた団体に対する経過措置はどのようなものか。
- ② 経過措置に対して、市としてどのように取り組むか。

#### (2) 中山間地域の振興策について

- ① 当市における山村振興法の対象地域はどこか。
- ② 現在の対象地域に対する具体的な対策は何か。
- ③ 中山間地域全般にわたる振興策の考えはあるか。
- ④ 中山間地域振興計画を策定する考えはないか。

## 8. 9番 藤本善男議員 (一問一答)

### 1. 多文化共生の地域づくりについて

日本では、平成2年の出入国管理及び難民認定法（以下、入管法）の改正以来、日系外国人の入国が増加し、日本各地の企業城下町では外国人コミュニティが形成されてきた。

また、日本における深刻な人手不足への対応として、令和元年4月の改正入管法の施行により、一定の専門性や技能を有する外国人の受入れが開始され、令和2年1月1日の外国人の人口は287万人となり、日本の総人口に占める割合で2.3%と過去最高を記録した。

当市でも、日系外国人を始めとする多くの外国人が暮らしているが、国籍や民族などの異なる人々が互いを認め合い、対等な関係を構築し助け合える多文化共生の地域づくりが、コロナ禍における今こそ求められることと思う。

市では、新年度事業として多文化共生に向けた新たな取組が行われるようだが、多文化共生の取組について、以下伺う。

- (1) 当市における外国人住民の状況はどのようになっているか。また、他市町との比較はどうか。
- (2) 外国人が抱える問題は何か。また、コロナ禍にあって、新たな課題は生じているか。
- (3) 新年度に取り組もうとしている多文化共生事業の事業概要や事業推進体制を伺う。

### 2. コロナ禍における市民協働のまちづくりについて

当市総合計画では、市民の主体的な参画や様々な団体活動の活性化を支援し、協働のまちづくりを進めることとし、これまで精力的に取り組んできた。この結果、子育て、防災、防犯、環境美化から地域福祉に至るあらゆる分野において地方自治に支援していただいている。

しかし、コロナ禍の影響により、自治会や町内会などのコミュニティ活動やNPO法人などによる市民活動は大きな転換点を迎え、コロナ禍が克服できたとしても、これまで同様の活動が維持できるか、大変不透明な状況にある。

今後の市民協働のまちづくり推進のため、市の方針について以下伺う。

- (1) コロナ禍において、自治会や町内会の活動はどのような状況であったか。また、市は諸課題に対し、どのような支援策を講じたか。
- (2) コロナ禍において、市内のNPO団体や市民団体はどのような状況であったか。また、市は諸課題に対し、どのような支援策を講じたか。
- (3) 新年度に向け、市はどのような方針で協働のまちづくりに取り組むか。

## 9. 3番 大村 泰史 議員 (一問一答)

### 1. まちづくりの現状と今後の取組について

当市においては、様々な施策によるまちづくりがなされているが、コロナ禍により市民が夢を創造できる状況ではないと考える。少子高齢化や人口減少は以前からの課題であり、市民に豊かな生活を実感してもらえるには、当市の未来を描くことができるような取組が重要だと考える。そこで、市民が笑顔で協調して豊かな生活を送れるまちづくりをするための考えについて、以下伺う。

- (1) 当初予定した計画に対しての進捗状況はどうか。
- (2) 今後の取組として、どのようなことを想定するか。
- (3) まちづくりは人づくりが重要だと考えるがいかがか。
- (4) ボランティア活動の広がりが有効だと思うがどうか。
- (5) 少子高齢化や人口減少の課題についてどう考えるか。

### 2. 自治体のデジタル化に対する取組について

自治体のデジタル化を推進するため、国から多額の資金的支援が期待される状況であり、以前、全国的に推進されたICT推進プロジェクトの次のステップに位置付けられているものだと私は考える。デジタル化は、住民本位の行政、地域、社会を実現するプロセスであり、一層住み続けたいまちとなるために、どのような行政サービスが必要であるべきかを描き、デジタル技術を活用し、実現していくことが求められていると考える。そこで、以下伺う。

- (1) デジタル化の成功のカギは組織体制と人材だと思うが、当市の体制と人材確保はどうか。
- (2) デジタルトランスフォーメーションによるデジタル技術を活用した市民サービス向上をどう図るか。
- (3) 庁内の業務効率化に向けての計画はどうか。
- (4) 広報業務との連携強化策を想定しているか。
- (5) 自治会での活用をどう考えているか。
- (6) 教育現場での活用をどう考えているか。
- (7) 新庁舎での活用をどう考えているか。

### 3. コロナ対策について

コロナ禍における当市の様々な対応について、どのような想定をする中で判断を下し、実施に至ったか、以下伺う。

- (1) 近隣市町とは違った観点での当市独自の対応として挙げることは何か。
- (2) 市民一人一人への支援策として挙げることは何か。
- (3) 特に、高齢者への対応として挙げることは何か。

## 10. 8番 横山香理議員 (一問一答)

### 1. コロナ禍での投票率低下を防ぐ方策について

今年5月には、島田市長選挙・島田市議会議員選挙が控えている。新型コロナウイルス感染拡大の真っ只中で行われるため、その投票率が低下するのではないかと懸念される。前回は、投票率が男性62.83%・女性65.26%で、全体として64.07%であった。投票率の低下を防ぐため、コロナ禍での投票となる今回において、どのように対応していくか、以下質問する。

- (1) 投票に当たり、会場でのコロナ対策はどのように考えているか伺う。
- (2) 高校生には出前講座として、模擬投票を行っているが、今年は成人式も縮小され、若者の投票率が一層低下することが懸念される。若者への周知として、どのようなことを行っているか伺う。
- (3) 新型コロナウイルスの感染により、自宅療養やホテル療養中の人は、どのように投票するか、その方法について伺う。

### 2. 「来てGO!しまだキャンペーン第二弾」を今後に生かす方策について

昨年のKADODE OOIGAWAのオープンに合わせて、令和2年11月11日から令和3年1月11日までの宿泊を対象に、「来てGO!しまだキャンペーン第二弾」を行った。今回は静岡県に加え、山梨県、新潟県、富山県氷見市の住民を対象とし、第一弾と同様、キャッシュバック3,000円と金券2,000円を合わせた、一室当たり5,000円相当の割引を実施した。新型コロナウイルス感染拡大の中で、予約先着順で1,500泊分を用意したが、どれだけの方が当市を訪れ、何に興味や魅力を感じ、どこに立ち寄り、何を体験し、当市を巡ったか。第一弾に続き第二弾に関しても、しっかりと検証することで、さらに今後の観光政策に役立つものと考え、以下質問する。

- (1) 今回は、対象範囲を前回の静岡県民から拡大させたが、第二弾の利用状況を伺う。
- (2) 第一弾ではファミリー層の利用が最も多かったが、今回はどのような客層が最も多かったか伺う。
- (3) 第一弾では、当市を選択した理由として、新型コロナウイルス感染症の影響により遠方よりも近場での旅行需要が高まったことが考えられるということであったが、今回当市を選択した理由として、どのようなことが挙げられるか伺う。
- (4) 第一弾と第二弾で対象者の範囲が異なることによるキャンペーンの効果の違いは見られるか。効果の違いが見られるとすれば、どのようなところで表われているか伺う。
- (5) 第二弾に合わせて新たに企画したイベント等を伺う。
- (6) 「TOURIST INFORMATION おおいなび」の利用状況を伺う。

## 11. 11番 佐野義晴議員 (包括質問)

### 1. まちづくりと立地適正化計画について

私は、これまで少子高齢化に伴う人口減少をキーワードに持続可能なまちづくりに向けて質問を繰り返してきた。

こうした中、平成30年度に第2次島田市総合計画が策定され「笑顔あふれる 安心のまち 島田」を将来像とした具体施策を実施している。

今後のまちづくり目標の一つに、市民生活を維持するために必要とする人口密度の集約が求められるが、まちづくりは一朝一夕にできるものではなく、過去から現在まで、時々々の時代背景を基に先人が積み上げたものである。

今に生きる我々は将来のまちづくりの理念を定め、その方向性を市民とともに共有していく必要があると考え、そこで、市長の将来を見据えた都市経営理念と戦略ビジョンについて、以下質問する。

- (1) 立地適正化計画（以下、立適）の進捗状況及び今後の動向を伺う。
- (2) 立適の策定意義とメリット、デメリットをどのように考えているか。また、計画を進める上での課題とその対応策を伺う。

### 2. 市民病院の経営と市の財政運営について

市民は、新病院の開院に大きな期待を寄せると同時に、医師確保問題等から病院経営とそれに関わる市の行政運営のあり方に関心を寄せている。

病院の経営継続とそれに関わる市の財政、いわゆる市民負担は行政運営の適否を判断する試金石となる。そこで、以下質問する。

- (1) 市民病院の経営状況（医師確保問題も含む）と今後の動向を伺う。
- (2) 病院の事業継続に向けての課題と一般会計への影響を伺う。

### 3. 都市経営の理念と市政運営のあり方について

これまでに発表された諸計画は、必要不可欠な計画として進められてきたと考える。しかし、それらが一貫性を持って連携し、その相乗効果によって、当市はよくなっているか、将来への備えができているか、甚だ疑問に思う時がある。

これを突き詰めていくと都市経営をどのように行っていくかという理念、言うなれば政治家に求められる哲学に行き着くと考える。そこで、以下質問する。

- (1) 近年、毎年のように行政組織が改編されるが、その主な目的と改編前後を比べた成果はどうか。また、危機管理部の現状体制に課題はないか伺う。
- (2) 市長が行政分野全般において、一貫して取り組むまちづくり理念は何か。また、それは第2次島田市総合計画にどう反映されているか伺う。
- (3) これまでの市政運営と議会との関係に対する自己評価を伺う。

## 12. 17番 平松吉祝議員 (一問一答)

### 1. 旧金谷中学校跡地活用事業の中止と今後について

旧金谷中学校跡地活用事業については、昨年突然、事業中止の発表がされた。昨年の9月定例会においても質問があったが、結論は「コロナ禍で賢明な判断をした」と市長自らの自画自賛で締めくくっている。この事業に関しては、当初より不安材料が多々あり、私は一貫して反対の姿勢であった。その後、市民からは「アウトレットはどうなっている。」、「納得できない。」、「最初から無理があった。」という声を非常に多く聞く。事業中止に至ったプロセスを深く追求したいと考え、以下質問する。

- (1) 事業者決定時点で2者の申し込みしかなかった。この時点で事業をやめる選択肢はなかったか伺う。
- (2) 株式会社八ヶ岳モールマネジメントについて、事前調査、あるいは経営状況調査を行ったか伺う。
- (3) 事業継続を「するリスク」より「しないリスク」の方が少ないと判断したようであるが、リスクの試算値を示していただきたい。また、「しないリスク」で現実にはどれだけのリスクを被ったか伺う。
- (4) 「中途解約」に当たらないという解釈や、なんとなく事業中止になったという答弁は市民に到底受け入れられるものではない。どちらからの申し出か伺う。
- (5) 一般的には、「一方から中止を申し出ると違約金が発生する可能性がある。」とのことだが、真意を伺う。
- (6) 賃貸借契約は問題が生じやすい。今回の事業中止は明らかに失策ではないか。市の執行業務として適切と判断しているか伺う。

### 2. 六合駅周辺整備について

現在、六合地区においては道悦旭町線や六合駅南口ロータリーなどが整備中であるが、それらの進捗状況について、以下伺う。

- (1) 道悦旭町線整備の進捗状況と全工事終了はいつになるか伺う。
- (2) 谷口道線整備の進捗状況を伺う。
- (3) JR 栃山踏切の拡幅工事の進捗状況はどうなっているか伺う。
- (4) JR 六合駅南口ロータリー整備の進捗状況を伺う。

### 3. 子供たちの伝承文化活動支援について

子供たちの伝承文化活動は近年、少子高齢化やコロナ禍によりその活動自体が厳しいものとなっている。温故知新の精神を育むためにも行政の支援は不可欠であると考え、以下伺う。

- (1) 子供たちの伝承文化活動は当市にどれだけあるか伺う。
- (2) その支援体制はどうなっているか伺う。
- (3) 伝承文化活動を当市の歴史遺産とともに世界に発信するプロジェクト構想を提案するがどうか。



13. 12番 桜井洋子議員 (一問一答)

1. コロナ禍における子どもの貧困対策について

コロナ禍という未曾有の危機の中、失職や減収による生活の危機、家庭内暴力や虐待、介護疲れなどで一層追い詰められる人たちがいる。貧困問題が目の前に広がり、その影響を直に受ける子どもの貧困が深刻になっていると聞く。市では先に、島田市子どもの貧困対策推進計画を策定し、対策を講じてきた。コロナ禍において、施策の充実を求めて、以下何う。

- (1) 小・中学生がいる家庭で、経済的な理由などにより教育費の支払いが困難な家庭を対象に、就学に必要な費用を援助する就学援助制度について
  - ① 令和2年度の小・中学校別の受給状況はどうか。
  - ② 国の補助メニューに追加されたクラブ活動費、生徒会費、PTA会費についての給付を実施する考えはないか。また、卒業アルバム代、めがね代などの市独自の給付を加え充実すべきと考えるがどうか。
- (2) 貧困に陥りやすいひとり親世帯への経済支援策は何か。
- (3) 生活困窮世帯の子どもや保護者に対し、学習の援助、生活習慣、育成環境の改善等の助言、進路相談などを行う事業の計画について
  - ① 開設する地区はどこか。
  - ② 対象者をどのように選定するか。
  - ③ 学習支援・生活支援に携わる体制はどのように取るか。
- (4) 安心して子育てできる新たな支援策について
  - ① 国民健康保険の加入世帯では、子どもの数が多いと国民健康保険税の均等割額（基礎課税額一人当たり27,800円）が人数分掛けられ、負担は重い。子どもの均等割額への助成を実施すべきと考えるがどうか。
  - ② 18歳までの子どもの通院の医療費は自己負担を廃止し、無料化すべきと考えるがどうか。

## 14. 5番 杉野直樹議員 (一問一答)

### 1. 市の財政について

当市における財政力指数は、平成30年度では0.75で平成28年度から3年間の平均値も0.75と安定はしているが、県内23市で見るとワースト5位であり、決して財源的に自立した自治体とはいえず、地方交付税が必要不可欠な自治体である。このような状況から、当市におけるこれからの財源確保のあり方、国と市の財政の関わりについて、以下質問する。

- (1) 当市の財政力指数が0.75であることをどう分析しているか。
- (2) 財政力指数を向上させる必要性をどのように考えているか。
- (3) 自主財源確保のための取組は何か。
- (4) 当市への地方交付税は今後10年でどのように推移していくと予測しているか。

### 2. ユニバーサルデザインの推進について

ユニバーサルデザインとは、障害者や高齢者に限定した概念ではなく、多様性に対応するという意味が込められている。近年の日本において、バリアフリーについては公共施設の建築手法にも取り入れられているが、多様性に対応するという意味では世界の中で遅れをとっていると考える。そこで、当市においてユニバーサルデザインに関する取組は何かがあるか質問する。

### 3. 交通結節点の優位性を生かしたまちづくりについて

当市の交通結節点機能を充実させるためのインフラ整備は現在も進行中で、今後、さらに利便性が向上、市が発展できる十分なポテンシャルを秘めていると考える。これを推進し、どのように活用するかは、行政の役割として重要であり、また、重責であると考えられることから、市の考えるまちづくりビジョンについて、以下質問する。

- (1) これまで交通結節点の優位性をどのように生かしてきたか。
- (2) 今後、この優位性をどのように生かしていくか。

## 15. 1 番 大 関 衣 世 議員 ( 一問一答 )

### 1. コロナ禍での避難所開設の取組について

今年、東日本大震災から10年目を迎える。「天災は忘れた頃にやってくる」の戒めのごとく、先日、2月13日夜、再び宮城県、福島県で震度6強の地震があり、災害に対する心構えを改めて思い直したところである。風水害からの避難はある程度時間的な予測ができるが、地震の場合はその余裕はない。突然の災害に備え、また、コロナ禍を見据え、多くの市民が避難所開設への初動を可能な状態になることで、迅速な開設や運営につながることを考え、以下質問する。

- (1) 現在の避難所について、分散避難の場合の避難所の数、開設方法等を伺う。
- (2) 課題と考えられることは何か。
- (3) 今後の対策は何か。

### 2. 公用車での事故をなくしていくために

専決処分の報告として公用車での事故の報告を受けることがある。詳細は知り得ないが、防げなかった理由は何だろうと思う事例もある。今後、事故をなくしていくために、庁内の安全運転に対する取組や意識の啓発等について、今一度、改善の方法を模索する機会につながればと思い、以下質問する。

- (1) 近年の事故件数と内容を伺う。
- (2) 安全運転に対する取組を伺う。
- (3) 今後の取組を伺う。

16. 14番 森 伸 一 議員 ( 包括質問 )

1. 島田市の地球温暖化（環境）対策と関連したまちづくりについて

本市は島田市環境基本計画を定め、各種の環境施策を推進している。また、国の地球温暖化対策推進法に基づき、島田市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）第4期計画を平成31年3月に策定し温暖化対策にも取り組んでいる。

この1年、我々の生活に大きな影響を与えている新型コロナウイルス感染症、そして地球温暖化の原因はどちらも人間の自然、生態系破壊によるものであり、生物種の絶滅スピードは恐竜大絶滅をはるかに超えている。人間による環境破壊についての見方や取り組み方を考え直す、人々にとって豊かさや自然とは何か考える、また、格差や不平等についてどう考えるかという意味を持つ「人新世」という時代が始まったことを示すため、この用語を現在の地質時代名の「完新世」の次に与えようという提案もある。

日本政府は2050年までに脱炭素社会実現を目指す方針を打ち出した。地方自治体である当市ではどのようなことができるか、環境施策を通じたまちづくりができないか。まず、当市の環境施策の取組の現状について質問する。

(1) 小水力発電について

- ① 小水力発電ガイドブックを作成したが、事業が進まない。この理由について昨年質問したときの答弁は水利権などが問題とのことだったが、市として小水力発電の推進について、どのように考えているか。
- ② 小水力発電よりも規模の小さいマイクロ水力発電の検討を行い、関心のある団体に当たっていききたいとの答弁もあったが、どうなったか。

(2) 太陽光発電について

- ① 市内の何世帯に太陽光発電装置が設置されているか。
- ② 家庭での太陽光発電設置費用の補助は数年前で打ち切られたが、補助金の復活を市の財源以外でも利用する形で行うことは可能か。
- ③ 市内の太陽光発電は、伊太田代のメガソーラー、下水処理場の屋根貸し等がある。公共施設等で設置、または、場所貸し等の計画はあるか。
- ④ 住宅用省エネルギー設備設置事業費補助金について、蓄電池の補助件数はどのくらいか。また、今後の見通しはどうか。

(3) バイオマス発電について

- ① 昨年、佐久間バイオマス発電を取り上げたとき、積極的に情報収集していくとの答弁であったが、どのような情報が得られたか。
- ② 間伐材を利用したバイオマス発電は木質ペレットチップ等の燃料が安定して供給できるシステムが必要であるとの答弁を3年前に受けているが、システムをつくるには何が必要と考えるか。

(4) 断熱性の高い省エネ住宅の促進について、市はどのように取り組んでいるか。

(5) 八高山周辺で計画されている風力発電について

- ① 今年度は気象などの調査を実施中と聞くが、調査の現状はどうか。
- ② 地元の市民から、問い合わせなどは来ているか。
- ③ 区域が掛川市と森町との境界付近であるが、これに関して両市町と情報交換は行

っているか。

(6) 小・中学校での環境教育について

- ① アースキッズの検証はどのように行われ、成果はどう捉えているか。
- ② 田代環境プラザ見学会への参加者はどのくらいか。
- ③ 総合学習の中では、どの学年でどのくらいの時間を割り当て、行われているか。また、参考とする教材はあるか。
- ④ 中学3年生の理科に生物と環境の項目があるが、どのような内容か。

(7) 学校給食の地産地消の割合について、目標を40%とする理由は何か。

(8) クールチョイスについて

- ① 賛同者はアースキッズ受講者、クールチョイス対談の参加者などとのことだが、現在の賛同者は何人か。また、目標値と比べてどうか。
- ② クールチョイスは、地球温暖化に対するあらゆる賢い選択を意味するようだが、市民の認知度を上げるためにどのような取組をしているか。

(9) ごみの減量について

- ① 田代環境プラザの溶融炉の処理能力は1日あたり148トンと聞いているが、最近の処理量はどれくらいか。
- ② ごみの減量の一つとして雑紙の分別資源化が課題となっていたが、現状はどうか。
- ③ 生ごみについて、キエーロやぼかしなどを利用して処理している世帯は市内にどのくらいあるか。

(10) MSC認証（水産資源の持続可能性と生態系に配慮した漁業などに認められる証明）について

- ① MSC認証商品を扱っている店は市内にあるか。
- ② この動きについて、市としてはどのように考えているか。

(11) プラスチックごみ等について

- ① プラスチックも含め河川への不法投棄が多いと聞くが、現状はどうか。
- ② プラスチックごみの排出抑制とリサイクルの推進の現状はどうか。
- ③ 最近、香りつき製品のにおいによってもたらされる健康被害が増加していると聞くが、当市の状況はどうか。